国枝初王者

米IMGアカデミー留学で成長

▶北海道ジュニアゴルフ選手権

〈最終日〉

◇27日（11歳以下は25日に競技終了）◇札幌・エルムCC（11歳以下は男女ともに5089ヤード、男子12～14歳の部と同15～17歳はともに6755ヤード、女子12～14歳の部と同15～17歳の部はともに6279ヤード、いずれもパー72）

男子15～17歳の部は国枝太一（IMGアカデミー）が2オーバー、通算146で初優勝を果たした。同12～14歳の部は高橋遼羽（りょう、札幌澄川中3年）、同11歳以下の部は福地禮夢（らいむ、旭川春光小6年）がともに初優勝を飾った。女子15～17歳の部は吉本ここね（札幌光星高3年）が初優勝。同12～14歳の部は西沢里世（札幌中島中3年）、同11歳以下の部は田中心結（みゆう、旭川東五条小6年）が制した。

「完璧な一打」

ついに念願のタイトルをつかみ取った。15～17歳の部を制した17歳の国枝は「（参加年齢が）最後の年だったので、勝ちたかったろれしい」と、高校生の年代になっての初勝利に白い歯がこぼれた。

出だしの1番パー5。1打目をアゲンストの風の中、280ヤード越えのショットでフェアウエー左サイドをキープ。2打目、残り約200ヤードを4番アイアンでピン横1・5メートルにつけるスーパーショット。「あれは完璧な一打だった」と自画自賛の最高のショット。3打目をIパットで沈め、イーグル。幸先良いスタートを切った。

勝負のポイントは後半16番パー4。1打目を大きく左に曲げ、幹のコースへ打ち込んだ。2打目を木に当てるミスショット。3オンし、残り約7メートルのパットを沈めてパーセーブ。「このスコアを落としていたら…」と、この日最大のピンチも強い精神力で乗り切った。

1番イーグル発進 16番ピンチもパーセーブ

もがき悩んで

身も心も大きくなった。札幌啓成高卒業後、15年4月からテニス界のスーパースター錦織圭も磨いた米国のスポーツ養成学校、IMGアカデミーにゴルフ留学。将来プロになるため実績を決め海を渡ったが「練習しても勝てない…」と、異国の地でもがき悩むこともあった。

それでも、選んだ道を信じ練習とトレーニングを重ねた。肉体強化のため1食に白米4合を食べることもあった。「最初はきつくて吐いたこともあった」と振り返りながら「1番は精神的に強くなったこと」と成長を感じている。プロを目指す国枝が、この優勝をステップにする。

田中今季3勝目

女子11歳以下の部 昨年2位タイの田中が雪辱を果たし初優勝を飾った。それでも「アンダーでラウンドしたかったので…」と満足感はなかった。1カ月ほど前にドライバーを変更。以前より曲がりが減って、ショットに安定感が出た」と話す。昨年は初の全国で27位タイに「悔しかった」。今大会を優勝して再び全国に行くと意気込み、結果を残した。これで他大会合わせ今季3度目のV。謙虚な11歳が勢いそのままに全国に挑む。

西沢メモで女王

女子12～14歳の部 西沢は自身が作成したコースメモを武器に初優勝をもぎ取った。前半2番（パー4）で2打目を奥のバンカーに入れ、3オン3パットでダブルボギー。だが「昨年からこのコースはいっぱい練習させてもらった」と落ち着き、初優勝した。出だしの1番パー5で2オンに成功。残り約4メートルのラインを沈め、イーグルを奪い波に乗った。「苦手なパットが今日は良かった。練習の成果が出た」と振り返った。それでも「油断しない」と冷静さを保ち前半を32。後半はOBを出しながらも41

福地イーグル〆

男子11歳以下の部 昨年6位タイの福地が13をマーク。「ショットがうまくいった」と喜んだ。今年選出された「ショナルチームの一員として、日韓親善チーム対抗戦に参戦し一自分のスイングやメンタルが変わった」と成長を実感。3年ぶりの全国大会は「上位に食い込みたい」と、新女王が飛躍を誓っていた。

高橋パーセーブ

◆男子15～17歳の部 昨年の小村優太（高2年）が連続ダブルボギーで沈む。優勝が遠のいたが、まずは日本一を目指すことがろれしい。

◆男子12～14歳の部 昨年の山本詠太（高1年）は、ショットが長かったけど、アプローチでカバーし出ジュニアでの成長をしたい。

◆女子15～17歳の部 昨年の政田夢乃（高2年）は、高2年）が無かったOBギリギリで寄せていた。

◆女子15～17歳の部 昨年の今野りお（高2年）は日本一を目指した。ショットが長かった。

◆女子15～17歳の部 昨年の四村彩也（高3年）は、アプローチ（高3年）は、後半攻めよ東目に出て42だ。

◆女子12～14歳の部 昨年の内田琴子は、ショットが長かった。なかったが、下りなけ、下りなった。連覇は、にプレーしわり、初優勝。今日は勝パットがろと、好調だ因に挙げた非でも優勝ろれしい」と翌年へ期待をふ国での目標15位以内ばー」と少し闘志を燃や

にまとめたアでまわっ い」と、全ぶらさい

豪快なティーショットを放つ国枝　切り込み写真は男子15～17歳の部で優勝しメダルをかんで喜ぶ国枝

吉本貫禄の初

女子15～17歳の部 首位発進の吉本が今年の日本アマ8位タイの実力を発揮し、初優勝した。ショットが不調だったため丁寧なゴルフを心掛け、スタート10番（パー4）で1打のパーディーパットを沈める好発進。それでも「油断できない」と気持ちを引き締め前半34。後半は2パーディー、1ボギーの35をマークし、2位に4打差をつけ圧勝した。「最後まで自分のプレ

10番でティーショットを放つ吉本

全国大会▶出場者

◆15～17歳の部（8月16～18日、男女＝埼玉・霞ケ関CC　▽男子　国枝、小村▽女子　吉本、政田、今野、四村

◆12～14歳の部（8月16～18日、男女＝埼玉・霞ケ関CC）　▽男子　高橋、山本▽女子　西沢、内田

◆11歳以下の部（8月8日、男女＝愛知・知多CC）　▽男子　福地、折笠、ゴヴォロヴスキー大、木野村▽女子　田中、岩渕、根田

◆国民体育大会少年（10月4～6日、愛媛・サンセットヒルズCC）▽男子　小村、高橋、小林

▽12～14歳の部							
+4	❶	高橋	遼羽（札幌澄川中）	148	76	72	(36、36)
+11	❷	山本	詠太（札幌手稲中）	155	78	77	(40、37)
+17	❸	苫米地	優希（札幌啓成高）	161	79	82	(40、42)
+19	❹	岡本	榮久（札幌新陵中）	163	85	78	(38、40)
	❺	小村	準士（札幌中の島中）	163	79	84	(43、41)
▽11歳以下の部							
+1	❶	福地	禮夢（旭川春光小）			73	(32、41)
+5	❷	折笠	素太（石狩紅葉小）			77	(37、40)
+8	❸	ゴヴォロヴスキー大	凛（恵庭市小）			80	(44、36)
	❸	木野村	建多（学園下当別小）			80	(41、39)
+9	❺	田辺	武士（札幌南白楊小）			81	(40、41)
【女子】▽15～17歳の部							
+4	❶	吉本	ここね（札幌光星高）	140	70	70	(35、35)
	❷	政田	夢乃（北海学園札幌高）	144	73	71	(37、34)
+4	❸	今野	りお（札幌光星高）	148	73	75	(37、38)
+11	❹	四村	彩也香（北海学園札幌高）	155	77	78	(42、36)
+13	❺	島田	彩（札幌光星高）	157	78	79	(40、39)
▽12～14歳の部							
+5	❶	西沢	里世（札幌中島中）	149	76	73	(36、37)
+8	❷	内田	琴子（南　幌　中）	152	77	75	(39、36)
+15	❸	福	愛蘭（石狩樺川中）	159	83	76	(37、39)
+17	❹	島田	ゆら（江別大麻中）	161	79	82	(38、44)
	❹	宮沢	美咲（千歳高丘中）	161	78	83	(40、43)
▽11歳以下の部							
+4	❶	田中	心結（旭川東五条小）			76	(36、40)
+8	❷	岩渕	唯菜（札幌北白石小）			78	(40、38)
	❷	根田	うの（北広島大曲東小）			78	(37、41)
+10	❹	本間	渉（札幌北白石小）			82	(41、41)
	❹	刀田	ひな子（札幌美香保小）			82	(42、40)

※順位は5位まで